

## 平成 21 年度植生保全対策概要について

## 1. 区域保護対策（防鹿柵）（平成 19 年度に 5 カ年計画を策定）

①現地検討 平成 21 年 7 月に森林生態系部会・ニホンジカ保護管理部会合同の現地検討会を開催。具体的な設置箇所について、保護対象と優先順位の検討を行った。

②実施場所 減少傾向にある植物種、多様な生物の生息環境に着目した箇所（西大台）。  
平成 21 年度事業分、コウヤ谷で No. 37～39 の 3 ヶ所整備。11 月末に完成予定。  
（平成 20 年度事業分、本年 7 月にカツラ谷で No. 35、ヤマト谷で No. 36 完成。）  
平成 22～23 年度計画分、ワサビ谷から開拓奥までの 3 ヶ所及びカツラ谷 No10-2  
において、現地検討会で設置箇所を選定した。（別添図面 No1-1 参照）

③実施方法 平成 21 年度は、現行の防鹿柵仕様にに基づき実施。  
平成 22～23 年度分は、設置コストの低減等への対応のため、現行の防鹿柵仕  
様に加え、ヘリコプターによる資材運搬、人力で施工できる軽い資材の検討<sup>注1</sup>  
（ステンレス含有本数・スーパー繊維入り素材ネット等）についても検討を行  
う。

注 1：小規模防鹿柵（東大台）、パッチディフェンス（西大台ギャップ地）、簡  
易防鹿柵（稚樹単木、個々の実生発芽基質保護）の使用部材として検討を行う。

## 2. 単木保護対策（ラス巻き）（平成 19 年度に 5 カ年計画を策定）

①実施場所 ニホンジカの剥皮により枯死しやすいトウヒ、ウラジロモミが主要構成樹種と  
なっている東大台において、上道周辺で 3,000 本の対象木を調査（新規及び巻  
き直し）。

また、森林生態系保全再生手法検討会及び事前WGにおいて、緊急に保護対  
策が必要である林縁部について当年予算で対策を進めるべきとの指摘により、  
正木峠周辺の林縁部において、500 本の追加調査を実施。（別添図面 No1-2 参照）  
両区域で、約 2,000 本の工事計画を策定。11 月～12 月工事実施。

②実施対象 母樹。剥皮を受けやすく剥皮により枯死しやすい樹種  
（トウヒ・ウラジロモミ・コマカガ・コハノネコ・マサカ・サカト等）

最近ではヒノキの剥皮が目立つようになってきており、単木保護の対象とするよ  
う検討。

③優先順位 ・第 2 期計画での具体的取組に係るもの

①森林後退の境界線の保護（最優先に位置づけ）

最優先箇所として、森林後退の境界線区域を図面上で選定し、次年度から現  
場調査及び対策を実施。

・平成19年度策定の5カ年計画に係るもの

②区域保全対策が実施されていない場所（未実施場所）

③ラス巻き実施から年月が経過している場所（要補修カ所）

風致景観上等の理由により防鹿柵の設置がなじまず、シカの食害が多い場所を優先。

④実施方法 平成21年度実施分は以下のとおり。

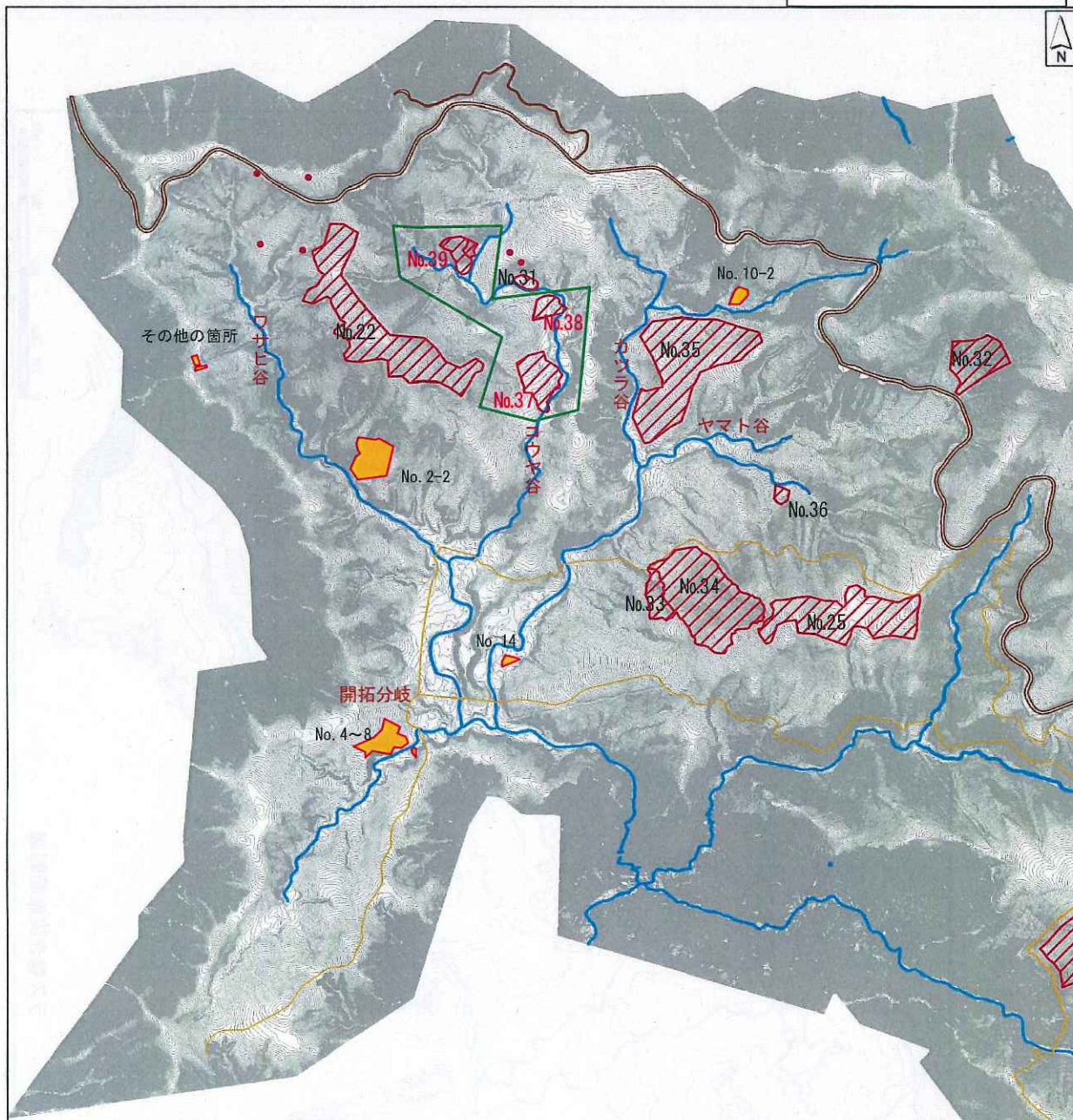
・メタルラスによる新規及び巻き直し 約1,500本


・プラスチック樹脂製ネットによる巻き直し 約350本


・新規プラスチック樹脂製ネット新規施工 約200本<sup>注2</sup>

注2：プラスチック樹脂製ネットの施工性、費用効果等を検証するための調査施工。

なお、ラス巻きによる蘚苔類への影響に鑑み、本年度中に、メタルラスとプラスチック樹脂製ネットの評価を行い今後の資材選定についての方向性を決定。



 H21 年度防鹿柵設置箇所

 H22~23 年度防鹿柵設置計画箇所

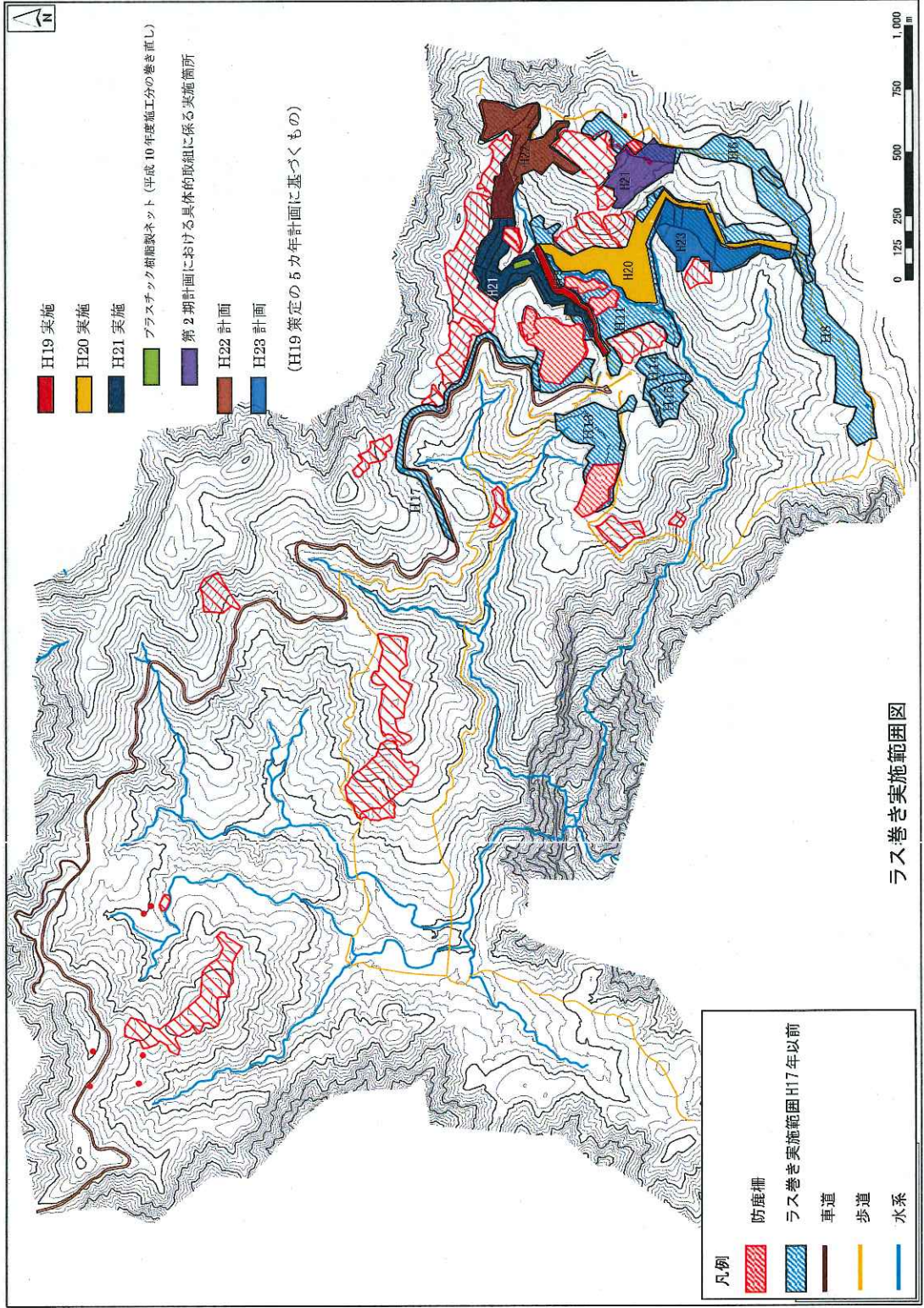
平成 19 年度策定 5 カ年計画による

- 凡 例
-  防鹿柵
  -  車道
  -  歩道
  -  水系

平成 21~23 年度防鹿柵設置箇所位置図







防鹿柵の概要(平成21年(2009年)度計画を含む)

現在設置している防鹿柵

番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
1	S62・H3	トウヒ保護	0.30	木柱+金網
2	S62	トウヒ保護	0.01	ポリ柱+ポリネット
3	H11	トウヒ保護	0.01	耐雪用格子柵
4	H11	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
5	H12	トウヒ保護(タイプI(ミヤコザサ:既設))	3.08	耐雪用格子柵
6	H12	トウヒ保護	0.50	耐雪用格子柵
7	H13	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
8	H13	トウヒ保護	2.28	耐雪用格子柵
9	H13	トウヒ保護	0.42	耐雪用格子柵
10	H14	トウヒ保護	1.98	FRP柱+ステンレス入ネット
11	H14	トウヒ保護	0.59	FRP柱+ステンレス入ネット
12	H14	トウヒ保護	0.57	FRP柱+ステンレス入ネット
13	H14	トウヒ保護	1.37	FRP柱+ステンレス入ネット
14	H14	トウヒ保護	2.49	FRP柱+ステンレス入ネット
15	H14	トウヒ保護	1.23	FRP柱+ステンレス入ネット
16	H15	自然再生(タイプI(ミヤコザサ))	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
17	H15	自然再生(タイプII(トウヒ-ミヤコザサ))	0.43	FRP柱+ステンレス入ネット
18	H15	自然再生(タイプIII(トウヒ-コケ疎))	0.85	FRP柱+ステンレス入ネット
19	H15	自然再生(タイプIV(トウヒ-コケ密))	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
20	H15	自然再生(タイプV(フナ-ミヤコザサ))	0.63	FRP柱+ステンレス入ネット
21	H15	自然再生(タイプVI(フナ-スズタケ密))	0.65	FRP柱+ステンレス入ネット
22	H15	自然再生(タイプVII(フナ-スズタケ疎))	5.62	FRP柱+ステンレス入ネット
23	H15	トウヒ保護	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
24	H15	トウヒ保護	6.02	FRP柱+ステンレス入ネット
25	H16	下層植生後継樹保護	4.00	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
26	H17	下層植生後継樹保護	1.02	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
27	H17	下層植生後継樹保護	1.22	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
28	H17	トウヒ保護	4.26	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
29	H18	スズタケ保護	1.57	FRP柱+ステンレス入ネット
30	H18	スズタケ保護	0.15	FRP柱+ステンレス入ネット
31	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
32	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.48	FRP柱+ステンレス入ネット
33	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	4.63	FRP柱+ステンレス入ネット
34	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.85	FRP柱+ステンレス入ネット
35	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	5.99	FRP柱+ステンレス入ネット
36	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.16	FRP柱+ステンレス入ネット
小計			25.31	
			8.52	
			6.25	
			1.72	
			13.28	
合計			55.08	

平成21年度設置予定

番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
37	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.13	FRP柱+ステンレス入ネット
38	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.49	FRP柱+ステンレス入ネット
39	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.51	FRP柱+ステンレス入ネット
小計			2.13	
合計			2.13	

撤去した防鹿柵

番号	設置年度	撤去年度	目的	面積(ha)	構造種別	撤去理由
R1	H1	H12	トウヒ保護	0.14	木柱+金網	No.5設置のため
R2	H4	H17	トウヒ保護	0.03	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
R3	H5	H17	トウヒ保護	0.13	ポリ柱+ポリネット	No.28設置のため
R4	H5	H12	トウヒ保護	0.18	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R5	H7・8	H12	トウヒ保護	0.56	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R6	H7・8	H12	トウヒ保護	0.78	ポリ柱+ポリネット	No.5設置のため
R7	H8-10	H15	トウヒ保護	7.17	ポリ柱+ポリネット	No.23設置のため
小計			トウヒ保護	9.00		
合計				9.00		

ラス巻きの実施概要(平成20年(2008年)度まで)

設置年度	実施場所	本数
H6	不明	300
	正木峠	910
	正木峠～尾鷲辻	840
H7	歩道沿い	300
	歩道沿い	710
	中道	1,280
H8	尾鷲辻～牛石方面	1,200
	日出ヶ岳周辺	530
	4ヶ所(巴、中道中央、尾鷲辻、牛石)	415
H9	3ヶ所(巴、中道中央(2ヶ所))	1,880
	2ヶ所(巴、上道と中道の間部分)	250
H10	上道と中道の間部分(一部ナイロンネット含む)	1,877
H11	ビジターセンター下	1,300
	中道コンクリート橋付近	1,700
	コンクリート橋付近	1,000
H12	シナノキの大木近く(日出ヶ岳)＋尾鷲辻付近	4,000
H13	大台教会下側	2,915
H14	駐車場下	3,023
H15	駐車場下	3,000
H17	ドライブウェイ沿い	3,000
H19	中道沿い(巻き直し)	974
	中道沿い(新規)	799
H20	中道沿い(巻き直し)	2,889
	中道沿い(新規)	1,315

※H18に防鹿柵内のラス巻きについては撤去した。